

今回は、北海道後志総合振興局に属する古平町にオープンした『道の駅ふるびたらこミュージアム』に行ってきました。こちらの古平町は、たらこの加工で有名な地域で今回ご紹介するのは、そのたらこをテーマにした北海道で129番目の道の駅です。

到着すると、たらこをイメージしたご当地キャラクターと、ピンク色の制服を身に纏ったスタッフさんがお出迎えしてくれました。オープンしたばかりということもあり、施設内はお土産コーナーもイートインスペースも大行列でした。そのため、今回は直ぐに食べられそうなテイクアウトのソフトクリームだけ注文し、そそくさと退散。まだ肌寒い中ブルブルと震えながら完食しました。次回来た時には、特産品のたらこがまるまる一本乗った『たらこ定食』か『たらこ塩ラーメン』にしようか思案中です。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

KOYORAD

世界の拠点から

-From the base in the world-



皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、千葉県流山市の運河水辺公園を紹介いたします。

この公園は東武アーバンパークライン(東武野田線)の運河駅から歩いてすぐの場所にあり、利根川と江戸川を結ぶ利根運河沿いに造られた公園です。利根運河は明治23年に開通し、舟運に活用されてきましたが、現在その役割は終えています。その運河沿いに整備された公園では、兩岸にある約160本のソメイヨシノが3月下旬から4月上旬にかけて満開を迎えます。(私も東日本へ赴任して、最初の花見になりました…)

また4月には『こいのぼり泳がせ隊』というイベントが開催され、運河をまたぐ形で鯉のぼりが展示されており、桜と鯉のぼりを同時に見ることができます。キッチンカーなども出ており、花見に最適だと思います。私が訪れた時もタイミングよく桜と鯉のぼりを同時に見ることができました。

今年の関東の桜の時期は終わりましたが、来年以降も桜のきれいな場所を探したいと思います。

東日本営業本部(部長:高橋 鉄夫)



寒い日が続いたかと思えば急に暑くなる日もあり、季節が分からなくなる時期でしたね。皆さまも体調管理には十分お気を付け下さい。

私も関西から引越しをして、久しぶりの名古屋での生活にも徐々に慣れ、自宅近辺のお店などを見て回りました。スイーツのお店もいろいろ増えてきていますが『極生ぷりん』の文字に惹かれ、プリン専門店に入りました。元々、名古屋もプリン専門店が多く、極生ぷりん専門店わ田もその一つ。ショーケースにはプリンのみが並んでおり、全部で15種類。クリームブリュレは注文が入ってから表面を焼き上げるこだわりがあり、賞味期限は1時間。その後の予定もあり、今回はいちごのプリンを選びましたが、果肉も入っており口当たりの良い一品でした。次回は賞味期限1時間のクリームブリュレも頂いてみたいですね。

中日本営業所(部長:藤谷 弘行)

全国的に春の陽気となり、桜や菜の花などがあちらこちらで満開の時期を迎え、色鮮やかな季節でした。こういう時は、芝生の上でほんわり暖かい爽風を受けながら、ゆっくりと流れる雲を眺めウトウトと寝る、というのをしてみたくります。

博多湾に浮かぶ能古島は、福岡市内の港からフェリーに乗り10分ほどで行くことができます。ちなみにフェリー代は片道大人¥230、小児¥120です。能古島に着いたら、『のこのしまアイランドパーク』へ向かいます。徒歩でもバスでもタクシーでも移動可能です。徒歩だと大人で約40分、お子さんと1時間ほどはかかるかと思います。登山好きな方にお勧めです。

過去に一度だけ歩いた経験がありますが、それも当時は30代。今回はバスを利用しました。ハイシーズンで臨時便も用意され、しかも通路までぎっしりの超満員でしたので重かったはず。上りはアクセル全開というくらいの勢いで走っていました。そんなこんなで入園料金¥1,500をお支払いし、アイランドパークへ入りました。その後は予想以上の景色と展開に終始大満足でした。皆様も是非、福岡県民憩いの島へ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

西日本営業所(部長:木下 敦裕)

中日本営業所(部長:藤谷 弘行)

西日本営業所(部長:木下 敦裕)

最近、会社の連休があると家内と一緒に車で旅行をしています。私みたいにジャカルタに住んでいる人々は、暑さから逃げるため少しでも涼しいところへ行きたいという気持ちが結構あります。

この前、4連休があったので車で約10時間、600kmほど離れている中部ジャワ州のディエンという地域に行ってきました。休憩は2~3回ほどで、食事がトイレへ行くぐらいです。ディエンは標高が高く、火山があるところです。夜になると結構寒く、気温は10℃以下、昼だったら15℃ぐらいです。ジャカルタを朝8時に出発すると目的地に着くのは夜です。車の運転で少し疲れましたが、楽しかったです。

次の日、オフロード車を借りたあと山道をたどって4~5カ所巡りました。火山クレーター近くの硫黄泉、湖、昔のヒンドゥー教のお寺などに行きました。1日だけでは不十分だったので、次の日もまたオフロード車を借りて観光しました。

最終日はお土産としてお菓子を買いました。帰りはまたゆっくり運転して、途中で山羊肉の美味しいレストランで食事しました。4日間の車の旅は楽しく過ごせていい経験でした。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

~達人レベルにはちょっと~

駅の待合室でポリポリ、休日の屋下がりには将棋を打ちながらポリポリ、中国ではちょっとしたおやつ、おつまみ、暇つぶしには『瓜子(グアズ)』と呼ばれる種スナックを食べるのがポピュラーです。もっともおなじみな物は、ひまわりやカボチャの種をローストしたものです。スーパーや駅の売店、行楽地に行けばどこでも安く買うことができます。

日本ではひまわりの種といえば『ハム太郎』の大好物ですが、中国では庶民のスナックです。塩味以外にもスパイス味、キャラメル味、ココナッツ味など種類も豊富です。ひまわりやカボチャ以外にもゴーヤ、冬瓜、へちま、すいかなどなど、様々な種類が昔ながらの庶民のおつまみとして人気です。蛋白質、カルシウム、ビタミンE、B1が含まれており栄養面でも優等生です。

とは言え、いちいち殻をむいて食べるのは面倒です。でも、中国の人はやはり子供のころから食べており慣れたもの。歯で器用に殻を外し、ポリポリと香ばしい味を楽しみます。どなたも口の中で殻をむくのにベストポジションがあるようで、一掴みまとめて口に入れ、次から次へと殻だけを吐き出す達人もいます。慣れない私は殻と実が口の中でごちゃ混ぜになりイライラしてしまいます。達人レベルにはちょっと無理ですね。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

こんにちは！最近ちょっと気になっているプロジェクトがあるので、今日はそのお話を。

実はTESLA(テスラ)が、ハリウッドのサンタモニカ・ブルバード沿いにダイナー&ドライブインシアター付きのスーパーチャージャースポットを建設中なんです。なんだか未来の映画みたいですが、もう工事もかなり進んでいて完成が近づいています。

施設はレトロなアメリカンダイナー風で、45ftの大スクリーンが2つ、そして約75基の最新型スーパーチャージャーが設置予定とのこと。さらに、料理を手がけるのはTV番組『アイアン・シェフ・アメリカ』などでも知られるエリック・グリーンズパン氏。プロジェクトの運営にはロサンゼルス

のレストランで活躍するビル・チェイト氏が関わっています。彼はあのタルティーン・ベーカリーにも出資していた方です。

とはいえ、イーロン・マスク氏の発言や動きに対する反応から、プロジェクトには賛否の声も。関わりを断ったシェフもいれば、興味を示したことで批判された方もいたようです。それでもやっぱり、『EV×食×エンタメ』という新しい組み合わせがどう形になるのか、気になりますよね。

現地では求人も始まっているので、近いうちに何かしら動きがあるかも。オープンしたら、ちょっと立ち寄ってみたいなと思っています。また面白い情報があったらシェアしますね。

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

シンガポールの建設業界は長年、主にインドとバングラデシュからの労働者に頼ってきました。生活費の高いシンガポールで、彼らはどうやって日々凌いで、生活しているのでしょうか？

ある朝、朝食を買っているとき、インド料理とバングラデシュ料理を売っているインド人の屋台を見つけました。街中で1食3S\$という値段に驚きました。さらに驚くべきことに、1日3食の月額制のプランならたったの130S\$です。味はさておき、この価格は本当に安く、労働者たちの節約と生活の助けになっています。

この屋台は長年営業しているので、おそらくわずかな利益で人々を助けるために営業しているのでしょう。ビジネスと社会貢献が融合しているというのは興味深いことです。このような取り組みは滅多にありません。彼らに敬意を表します。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

昨年、マウンテンバイクを始めたことについて書きました。そこで書いた3つの目標のうちすでに2つは達成しています。

今回は、最後の目標についてお知らせします。それは、急な坂道のあるシングルトラック(25km以上)を止まることなく走り、平均速度を時速18km以上にすることです。当時オランダは冬で、雨がたくさん降り、気温は氷点下近くでした。理想的な状況ではありませんでしたが、それでも毎週自転車に乗ってトレーニングし、スタミナをつけました。何度かトライした後、止まることなく走り回れるようになりました。中間目標を達成した直後に自分へのご褒美として飲んだトラピストビールは、今までで一番おいしかったです。疲れましたが満足しました。このとき平均速度がほぼ時速17kmだったので、時速18km以上も達成できると期待が持てました。

次のラウンドでは、最後の目標である時速18.2kmを達成しました。残念ながら、雨のせいでコースはどんどん悪くなり、水たまりや穴だらけで背中中の怪我が再発したため、スピードを落とす必要がありました。この問題を解消するためにフルサスペンション付きの新しい自転車を購入しました。この自転車はコースを飛ぶように走り、背中を健康な状態に保ってくれます。まさかこれほど大きな違いが出るとは思っていませんでした。今では同じコースを時速21km以上で、もちろん止まらずに走っています。

自分自身に挑戦し続けなければならないので、私の新しい目標はこのコースを1時間以内で走ることです。これから天候も良くなってくるので、この夏の間に成功できることを願っています。まさに、私は新しいスポーツを(再び)見つけたと言えると思います。

KIO(オランダ)(Ferri Visser)